

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

ひびきの保育園

当園は、平成27年4月に若松区の西部から八幡西区の北西部にかけて、現在進行形の学術研究機能を持つ創造的都市に設立しました。周辺は教育・研究機関の集積と住宅地の供給を行う都市整備が急ピッチで進んでいる状態の中、地域の拠点となるような保育園づくりを目指してきました。

開園から5年目を迎えて今回の第三者評価事業に参加するにあたり、まず職員全員で自己評価を行いました。その後、経験やクラスを考慮して4つのグループに項目を振り分け、チェックシートを作成して各項目の内容確認を行いました。また、各グループで判断基準項目の評価基準や定義を確認しながら取り組みや記録・マニュアル見直しの作業を行いました。作業を進めていく中で、現状の保育の見直しや保育内容の充実に向けての今後の課題が明らかになりました。このことは、専門職としての資質の向上を図る上で、大変有意義な機会であったと思います。

評価結果では、すべての項目で概ね良い評価を頂いたので、保育運営を行う中で大変励みになりました。今後も更なる向上、充実に努めていきたいと思えます。

課題となった、「小学校等との連携」については、連携施設となった「ひびきの小学校」も平成29年に設立されたばかりの新しい小学校であり、こちらからの交流訪問しか実施出来ていなかった為、しっかり交流活動が出来る様に働きかけていきたいです。

今後も保護者や地域の方に信頼される保育運営を行い、関係諸団体とも積極的に交流を図り、子どもの最善の利益を考え、更なる保育の質の向上に努めていきたいと思えます。